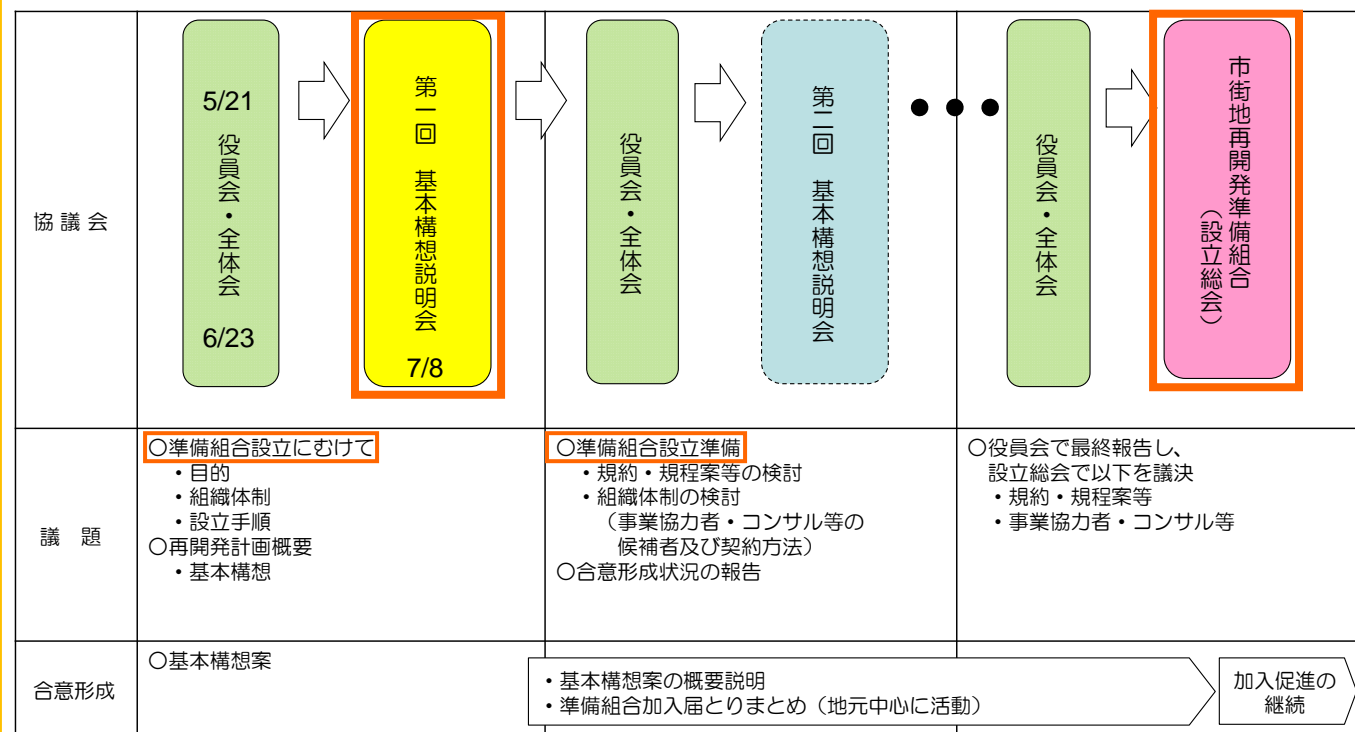


再開発準備組合設立に向けて、準備チームを発足

本協議会は今年度中に再開発準備組合を設立することを目標として、準備チームを発足しました。準備チームでは、規約（案）の作成や運営体制の検討など、再開発準備組合設立に向けた準備を実施します。また、協議会の皆様と連携し、加入促進活動を行います。

■準備組合設立に向けたスケジュール



■7月8日に基本構想説明会を開催します

7月8日に基本構想説明会を開催し、まちづくり基本構想案を、まちづくり協議会範囲内の全権利者（協議会未加入者も含む）に向けてご説明いたします。

○基本構想説明会

7月8日（水）19:00～20:30 豊島区本庁舎 1階 としまセンタースクエア
（豊島区南池袋2-45-1）

当日は、池袋駅周辺のまちづくりの動向を協議会のこれまでの活動についてご報告するとともに、今後の再開発事業スケジュール、今後の再開発準備組合への加入手続き等をご説明いたします。

これまで協議会へ未加入の方も、ぜひご参加ください。

●お問い合わせ（池袋駅西口地区まちづくり協議会事務局）

豊島区 都市整備部 都市計画課
住所 〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1 豊島区庁舎 6階
電話 03-4566-2636 FAX 03-3980-5135
E-mail A0022603@city.toshima.lg.jp
URL <http://www.city.toshima.lg.jp/299/machizukuri/toshikekaku/toshikekaku/katsudojoho/020959.html>

池袋駅西口地区 まちづくり ニュース

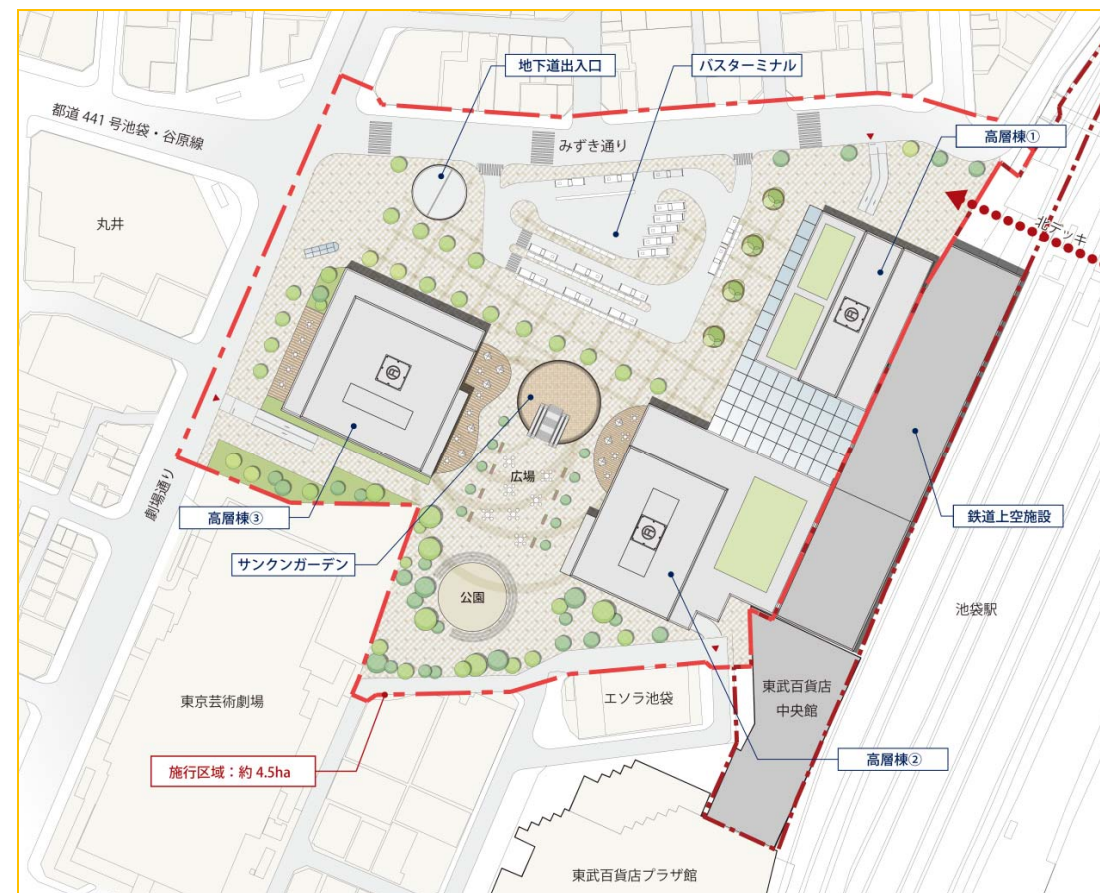
28
2015年
6月

発行：池袋駅西口地区まちづくり協議会

東武百貨店エリアを含めた 新たなまちづくり基本構想を提案

6月23日に開催された全体協議会で、東武百貨店エリア（メトロポリタンプラザビルを除く）を含めた事業検討範囲におけるまちづくり基本構想案が示されました。

■まちづくり基本構想案 配置計画案



東京都から内閣府に「特定都市再生緊急整備地域指定」の申入れ

5月22日、東京都は内閣府に対して池袋駅周辺地域の「特定都市再生緊急整備地域」指定の申入れを行いました。今後、都市再生緊急整備地域の指定を受ければ、従来の法規制にとらわれない緩和要件が可能になる都市再生特別地区の適用を受けることが可能になります。都市再生への貢献次第では容積率の緩和も可能となり、事業成立の可能性が格段に高くなります。

■第13回 全体協議会

〔開催日時〕 6月23日（火）19:00～20:45

〔場所〕 豊島区本庁舎 5階 会議室 507～510

〔報告事項〕

- ・特定都市再生緊急整備地域の指定の動きについて
- ・まちづくり基本構想案（区域拡大案）について
- ・再開発準備組合の設立について
- ・まちづくり事業の推進体制案について 他

■基本構想案の説明

○コンセプト案

「つながるまち ～繋がり力をまちの力へ～」

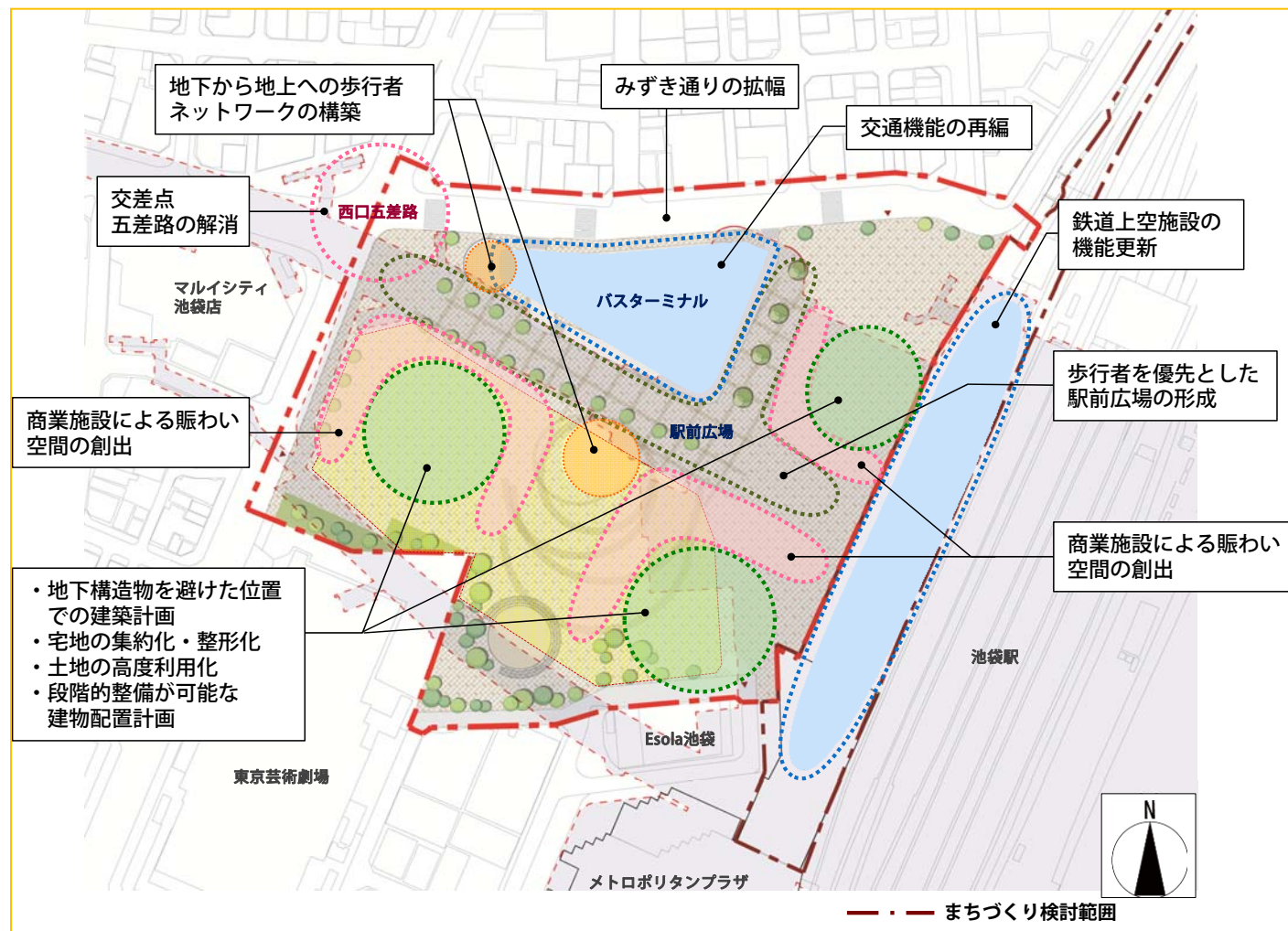
○空間づくりの基本的な考え方

1 人間中心 2 歩車分離 3 文化・芸術 4 賑わい・交流

○まちづくり検討範囲の拡大

東武百貨店エリア（メトロポリタンビルを除く）を含めたことで、よりダイナミックなまちづくりの検討が可能になった。

○事業の実現化に向けたポイント



〔いただいた主なご意見〕

■基本構想案について

- ・バスターミナルは地下に持っていくことはできないのか？
→当該地区の地下には地下鉄（有楽町線・副都心線）が通っており、地下空間の利用には制約があるが、今後も検討していく。
- ・特定都市再生緊急整備地域の指定により、どのくらい容積率が割り増せるのか？
→公共貢献の内容に応じて容積率の割増が可能になる。具体的な数値は今後の協議による。
- ・東武鉄道の上空まで一体に整備できないのか？
→鉄道施設の上空を同一の事業とすることは難しいが、連続性のある計画を検討していく。

■再開発準備組合について

- ・準備組合の成立要件はあるのか？
準備組合への加入が再開発事業への賛同とみなされるのか？
→準備組合は任意の団体であるため、加入割合等の要件はない。
加入が賛同になるわけではない。準備組合に加入していただき、様々な意見を聞かせてもらいたい。
- ・今後は、協議会未加入の方にも準備組合に加入していただく必要がある。新しく加入される方の意見や要望にも、丁寧に対応してもらいたい。

